



日本遺産

出雲國たたら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～

## 国際的な視点で語る たたら文化の魅力と価値

島根県雲南市には、たたら製鉄が栄えた往時の記憶を示す史跡や産業遺産、

それらに関連する生活文化など、全国的にも希少な資源が随所に残されています。

地域資源であるこのたたら文化の価値と魅力を、国際的な観点から再確認し、今後どのように継承し、国際的な交流や観光拡大、産業振興等につなげていくかについて、皆さまとともに考えるためのフォーラムを開催します。

T A T A R A

雲南たたら国際フォーラム

世界に誇れる文化

「たたら」

# Unnan Tatara International Forum

令和5年 2月11日(土) 14:00～16:30

受付13:30～

雲南市木次経済文化会館 チェリヴァホール 3階 大会議室(木次町)

参加無料

[要予約]

### ◆講演

『SDGsを実現していた江戸時代 ～自然や社会と共存した“たたら”文化～』

鈴木一義氏(国立科学博物館 名誉研究員)

### ◆パネルトーク

『たたらと鍛冶の未来を語ろう』

鈴木一義氏・山本和臣氏(日本鍛冶学会会長)・吉山 治(雲南市副市長)

[オンライン参加] 河村幸祐氏(日本鍛冶学会副会長)・Ivan Gomez Fonseca氏(日本鍛冶学会会員)



鈴木一義氏

主催：雲南市たたらプロジェクト会議

令和4年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)

◆講演

# 『SDGsを実現していた江戸時代 ～自然や社会と共存した“たたら”文化～』

鈴木一義先生は技術史がご専門で、とくに江戸時代から現代にかけての日本のモノづくりや技術を、長年にわたり実証的な観点から調査・研究されてきました。そうしたお立場から、江戸時代の主要産業であった“たたら”や日本各地の鉱山、医療、教育、モノづくりなどの状況を紹介し、SDGsを実現していた江戸時代の日本社会について解説していただきます。

※SDGs：持続可能な開発目標



鈴木一義氏  
国立科学博物館 名誉研究員

## Unan Tatara International Forum 2023.2.11



山本和臣氏  
日本鍛冶学会 会長



河村幸祐氏  
日本鍛冶学会 副会長



Ivan Gomez  
Fonseca 氏  
日本鍛冶学会 会員

### ◆パネルトーク 『たたらと鍛冶の未来を語ろう』

鈴木一義先生、本市と連携関係にある日本鍛冶学会会長の山本和臣氏、吉山治副市長に、日本のたたら・鍛冶の文化を今後どのように継承し、国際交流・観光拡大、産業振興等につなげていけばよいかについて、語りあっていただきます。この時間には日本鍛冶学会の河村幸祐氏と Ivan Gomez Fonseca氏にもオンライン参加いただけます。

#### 日本鍛冶学会

全国の刃物産地の鍛冶職人たちが、技術や情報を共有しながら伝統を継承し、その価値を問い直して地位向上を目指すために組織された団体であり、業界を取りまく諸課題を解決するために様々な活動を行っています。(事務局：新潟県三条市)



#### 《新型コロナウイルス感染症対策について》

※ご来場にあたってはマスク着用の上、検温及びアルコール消毒にご協力をお願いします。  
※発熱や軽度であっても咳等の症状のある方は参加をご遠慮ください。

本フォーラムは事前の申し込みが必要です。

参加希望者の方は必要事項をご記入の上、下記までFAXにてお送りください。

メールでお申し込みの場合は下記項目を記載の上、下記アドレスにお送りください。

[seisakuishin@city.unnan.shimane.jp](mailto:seisakuishin@city.unnan.shimane.jp)



## FAX申込み

送付先：雲南市たたらプロジェクト会議  
事務局（雲南市政策企画部政策推進課）

FAX:0854-40-1029

お名前		
ご住所	県	市・町・村
電話番号	-	-
※新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、フォーラム開催を中止する場合はご連絡いたします。		
※ご同行の方のお名前をご記入ください。		

※申込者の個人情報本フォーラムの運営にのみ使用いたします。

お問合せ先 雲南市たたらプロジェクト会議事務局 山本（雲南市政策企画部政策推進課）  
雲南市木次町里方521-1 TEL:0854-40-1011 FAX:0854-40-1029 [seisakuishin@city.unnan.shimane.jp](mailto:seisakuishin@city.unnan.shimane.jp)